

第7回 標準委員会 発電炉専門部会  
統計的安全評価手法標準分科会 P9SC7  
議事録

日時 2006年12月7日(木) 13:30 ~ 17:40

場所 日本原子力技術協会 A・B会議室

出席者 三島主査(京大)、山口副主査(阪大)、笠井幹事(原技協)、江畑委員(JNES)、  
影山委員(GNF-J)、鈴木委員(JAEA)、田中委員(茨大)、谷本委員(保安院)、  
古川委員(MHI)、堀田委員(TEPSYS)、松浦委員(原燃工)、松本委員(日立)、  
本谷委員(東芝)、森田委員(原電)、山本委員(名大)、綿田委員(関電)、  
渡辺委員(JAEA)

常時参加者 小野(東芝)、金子(GNF-J)、香田(日立)、坂場(MHI)、鈴木(原燃工)、  
米原(原技協)

発言希望者 工藤、深堀(GNF-J)

傍聴者 電力・メーカー関係者(敬称略)

#### 配布資料

第7回 統計的安全評価手法標準分科会(P9SC7) 議事次第

P9SC7-1 : 第6回統計的安全評価手法標準分科会P9SC6 議事録(案)

P9SC7-2 : 統計的安全評価手法分科会の進め方について

P9SC7-3 : 課題整理表

P9SC7-4 : 日本原子力学会標準(案) 統計的安全評価手法(本文、附属書1)

P9SC7-5 : 附属書2 最適評価コードの要件と管理(案)

P9SC7-6 : 解説(案)

7-6-1 : 適用に際しての考え方

7-6-2 : 統計的安全評価手法手順

7-6-3 : 重要度ランキングテーブル(PIRT)作成要領

7-6-4 : 入力データ等の不確定性分布設定の考え方(BWR)

7-6-5 : 最適評価コードの要件と管理

7-6-6 : 統計的安全評価手法における保守性について

#### 議事及び主な質疑応答

(1) 常時参加者追加の承認

松本委員より、香田氏を常時参加者とする提案があり、承認された。

(2) 議事録の確認

笠井幹事より、P9SC7-1「第6回統計的安全評価手法標準分科会P9SC6 議事録(案)」により、前回分科会の議事録の確認が行われ、承認された。

(3) 進め方及び課題整理表の説明

笠井幹事より、P9SC7-2「統計的安全評価手法分科会の進め方について」に基づきスケジュールが紹介されるとともに、P9SC7-3「課題整理表」により、過去の分科会で出された課題とその対応について確認があった。

(4) 本文

坂場常時参加者より、P9SC7-4「日本原子力学会標準(案) 統計的安全評価手法(本文)」に基づき、前回からの変更点について説明があった。

適用範囲において軽水炉以外へ適用する場合の妥当性について記載内容を見直すこととなった。また、手法においてスケールアップの検討項目を明記すること、及び確率的拡がりを持つ統計的評価値を安全上の判断基準と比較する方法として、95×95ベース評価値を例として解説することとなった。

(5) 附属書1

坂場常時参加者より、P9SC7-4「本原子力学会標準(案) 統計的安全評価手法(附属書1)」に基づき説明があった。

解析コードの不確定性評価においてペナルティの定量化方法について記載を分かり易く見直すこととなった。

(6) 適用に際しての考え方

坂場常時参加者より、P9SC7-6-1「適用に際しての考え方」に基づき説明があった。本文や附属書1との重複を避けた内容に見直すこととなった。

(7) 統計的安全評価手法手順

坂場常時参加者より、P9SC7-6-2「統計的安全評価手法手順」に基づき説明があった。

解説については、本文や附属書との重複を避けた内容に見直すこととなった。順序統計法において59ケースのサンプリングは一例であることを記載することとなった。PWRとBWRにおける統計パラメータの扱いについては、別の解説において相違を含め記載する。また、統計手法の規定については、PWR、BWR何れにも適用可能な枠組みを目指すものであることを確認した。

(8) 附属書2及び解説

工藤発言希望者より、P9SC7-5附属書2「最適評価コードの要件と管理（案）」、P9SC7-6-5「解説 最適評価コードの要件と管理（案）」に基づき説明があった。

「コード性能に対する要求定義」をそのままの表現で残すとともに、品質管理の目的を明確化し附属書1との関係を整理することとした。附属書1における「コード凍結」と附属書2における「コード改良」について矛盾しない関係が読めるように調整することとした。また、附属書間の用語統一を図ることを確認した。

(9) その他

米原常時参加者より、春の年会の企画セッションへの対応状況について紹介があり、笠井幹事より、次回分科会を2/9（金）に開催することの確認があった。また、次々回を4/10（火）に仮決めした。

以上